

新型コロナウイルス感染症検査結果の受検者への伝達誤りについて

新型コロナウイルス感染症に係る行政検査について、検査結果判定前であったにも関わらず、受検者に対して、「陽性」として誤った結果をお伝えした事例が2件判明しましたので、ご報告いたします。

このような事態を招きましたこととお詫びいたしますとともに、今後、再発防止に取り組んでまいります。

【事例】

2506例目（県内4628例目）

- 1 年齢 10歳代
- 2 性別 女性
- 3 居住地 熊本市中央区

2508例目（県内4630例目）

- 1 年齢 20歳代
- 2 性別 男性
- 3 居住地 熊本市中央区

【経緯】

5月8日

- ・医療機関よりファックスにて保健所に発生届等が提出される。
- ・医療機関に状況確認を行うことなく、「陽性」と判断し、ご本人に連絡を行い聞き取り（積極的疫学調査）を実施

5月9日18時30分

- ・ファックスで届いた発生届の情報を新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム（HER-SYS：ハーシス）に入力を行う際に、発生届に検査結果等の記入漏れ等があったことから、医療機関等に確認を行ったところ、2506例目は検査の結果「陰性」、2508例目は検査結果判明前（5月10日に「陰性」を確認）であることが発覚した。
- ・5月9日18時30分時点で、2506例目は宿泊療養施設へ入所、2508例目は自宅療養中。

【原因】

- ・医療機関から提出を受けた発生届等の書類について、記載内容のチェックや医療機関への状況確認を行っていなかったことや、複数人で結果の確認をすべきところを怠ったことなどにより発生したものの。

【対応】

- ・ご本人及びご家族様へは、昨日誤り判明後、直ちにご連絡し、経緯についてご説明のうえ、謝罪を行いました。

【再発防止策】

- ・人員体制を強化し、発生届等の確認を行う担当職員の明確化や、複数人での全件確認の徹底などにつき、改めて研修の実施等、再発防止に向けた取組を徹底します。

【お問い合わせ先】

熊本市 健康福祉局 新型コロナウイルス感染症対策課

電 話：096-364-3311

課 長：内田（うちだ）

副課長：岡島（おかじま）、迫田（さこだ）